

# ながおか 市議会だより

第128号

平成12年7月25日発行  
編集発行 長岡市議会  
電話 39 - 2244



お花たちも暑いよね！ ～北部保育所で～

## 6月定例会

場外馬券売り場の  
設置反対を決議 (P2)

一般質問に12人が登壇 (P3~ 9)

常任委員会・議会運営委員会  
委員が変わる (P10)

6月定例会は、6月16日から27日までの12日間の会期で開かれました。この定例会では、12人の議員が市政に対する一般質問を行ったほか、市長提出議案9件、議員提出の決議・意見書3件、請願3件を審査し、それぞれ掲載のとおり決まりました。

# 場外馬券売り場の 設置反対を決議

越路町地内で計画されている新潟県競馬組合の場外馬券売り場建設計画に対し、建設予定地に隣接する地区を中心に反対運動が高まる中、六月定例市議会に、この施設の設置反対の請願が提出されました。

市議会では、この請願を受けて、六月定例会最終日に「場外馬券売り場の設置反対に関する決議」を全会一致で可決し、新潟県競馬組合に対し決議文を送付するとともに、一方の当事者である西栄建設株式会社に対し、議長が決議文を手渡し、設置反対の意思を表明しました。

## 場外馬券売り場の 設置反対に関する決議

現在、新潟県競馬組合と西栄建設株式会社との間で三島郡越路町地内に場外馬券売り場の建設が計画されております。しかし、建設予定地は地籍こそ越路町というものの、当市に隣接した場所であり、この場外馬券売り場が設置された場合、当市の青少年の健全育成、地域住民の生活環境や治安の悪化、交通渋滞や交通事故の危険増大などの点で多大な悪影響を及ぼすことが予想され、地域住民も挙げてこの施設の設置には反対しております。

よって、本市議会は、越路町地内に計画されている場外馬券売り場の設置に反対するものであります。



## 道路整備財源の 充実強化に 関する意見書

道路は、豊かな生活と活力ある地域づくりを実現するうえで最も基礎的かつ重要な社会資本であり、その整備は市民が熱望しています。特に当市では、市民の日常生活に欠かさない生活道路の整備、雪や災害に強い道路の整備、交通安全対策の充実、高齢者や障害者に配慮した歩行者空間の整備、長岡東西道路の整備推進などが強く望まれていますので、次の事項を実現されるよう要望します。

- ・ 新道路整備五カ年計画に基づき、道路整備を円滑に推進していくため、道路特定財源制度を堅持するとともに、道路整備費を拡充すること。
- ・ 活力ある地域づくりを推進するため、市町村道から高規格幹線道路に至る道路網の整備を一層推進することなど。

## 三十人以下学級の実現と 義務教育費国庫負担 制度の堅持等に 関する意見書

いじめ、不登校など、山積する深刻な教育問題の解決は今や国民的課題と言っても過言ではなく、これからは子供一人一人の個性を大切にしながら、ともに学び合う教育へと転換を図らなければなりません。そのためには、三十人以下学級の実現や子供たちの学びに応じた多様な学習形態が可能となる教職員配置が不可欠であります。

また、大蔵省は、これまで義務教育費国庫負担制度について、国の財政事情を理由に、教材費や旅費などを一般財源化し、地方への負担転嫁を行ってきたうえ、長年にわたり学校事務職員・栄養職員の人件費などを制度の対象から除外しようとしており、義務教育費国庫負担制度の存続さえ危ぶまれていますので、次の事項を実現されるよう要望します。

- ・ 三十人以下学級の実現を柱とする新たな学級編制及び教職員定数標準法を策定すること。
  - ・ 義務教育費国庫負担制度を堅持し、同制度の国庫負担率を引き下げないことなど。
- 議員提出のもの  
決議・意見書
- ・ 道路整備財源の充実強化に関する意見書
  - ・ 場外馬券売り場の設置反対に関する決議
  - ・ 三十人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意見書
- 市長提出のもの
- ・ 一部改正された条例
  - ・ 退職年金及び退職一時金に関する条例の一部を改正する条例
  - ・ 補正予算
  - ・ 12年度一般会計
  - ・ " 国民健康保険特別会計
  - ・ " 下水道特別会計
  - ・ " 老人保健特別会計
- 専決処分
- ・ 11年度一般会計補正予算など7件
  - ・ 契約の締結
  - ・ 山通地区コミュニティセンター(仮称)建設工事
  - ・ その他
  - ・ 町(字)の区域及び名称の変更
  - ・ 市道路線の認定及び変更

6月定例会で  
決まった案件

# 市政の内容を聞く



3~9ページは、本会議での一般質問と答弁をまとめました。

## 場外馬券売り場 建設計画への対応は

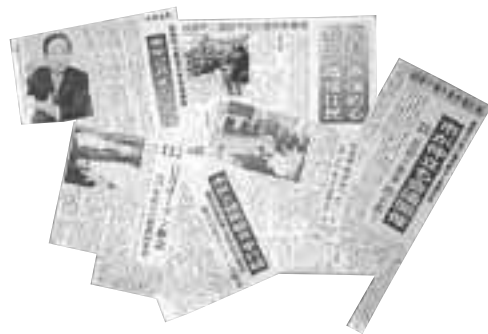
問 越路町への場外馬券売り場建設計画について、当市の前川・十日町地区の住民を中心に反対運動が広がりを見せている中、五月十二日には市の仲介で県競馬組合との話し合いが持たれたが、その内容と県知事の対応はどうか。

答 五月十二日の説明会は、県の依頼もあり、当市が仲介役となつて開催したのですが、これにより、県も、反対する住民の声が決して一部の人の声のものではなく、草の根的に広がったものであることが理解でき

たのではないかと思います。

また、県知事は、五月十七日の定例会記者会見で、周辺住民の理解が得られないままでは進めることができないため、当初予定していた十一月の開設は無理との見直しを示すとともに、来年二月までに計画を進めるかどうかの最終的な判断を行うことも明らかにしています。

問 市長は、六月二日に地元住民の代表と話し合いをされたが、地元住民の意向をどのように感じたか。  
また、当市としての判断を明



確にする時期が来たのではないかと思っていますか。

答 六月二日に地元に行つて直接住民の思いを聞くことができました。例えば、近くに小学校があつて建設予定地の近くま

で子供たちの遊び場になつていくこと、平和な土地柄であること、市街化区域への編入を機にまちを活性化して複式学級を解消したいと張り切っていた矢先であつたこと、運転免許センターの開設と併せて交通渋滞が心配されることなど、そういった地元住民の不安を背景にして、反対運動が草の根的に広がっていることを改めて肌で感じることもできました。

したがって、今後一番大切なことは、私が肌で感じた住民の気持ちを県や競馬組合にありのまま正確に伝えることだと思ひますので、最終的な市としての判断は、この議会での議論も踏まえ、どのように伝えていくか検討したいと考えています。

6月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。

- 高野正義
  - ・場外馬券場について
  - ・第二上条跨線橋について
  - ・長岡操車場跡地利用について
- 伊部昌一
  - ・地域コミュニティ推進の課題について
  - ・環境行政の推進について
- 小林成治
  - ・福祉行政について
- 加藤一康
  - ・都市景観条例について
- 竹島良子
  - ・介護保険について
  - ・義務教育での少人数学級編制について
- 小熊正志
  - ・その他廃プラスチックのリサイクルについて
- 酒井正春
  - ・中村真衣選手オリンピック出場の当市の取り組み姿勢と応援体制について
- 笠井則雄
  - ・事務事業評価システムについて
  - ・場外馬券売り場建設計画について
- 石橋幸男
  - ・大規模小売店舗立地法の施行に伴う対応について
  - ・ニュータウン事業について
  - ・西部丘陵地区の土地利用について
- 関貴志
  - ・新しい観点での環境マネジメントシステム・ISO14001の認証取得について
- 家老洋
  - ・長岡市で生活している外国人への支援について
- 小坂井和夫
  - ・住宅政策について

# 長岡操車場跡地の 利用計画は

問 長岡操車場跡地には、デザインセンターをはじめ、多目的広場、複合交通施設、アミューズメント施設などを整備する計画があったが、ここに県営屋内プールを誘致することにすると、そのほかの土地利用はどうなるのか。

答 長岡操車場地区全体の土地利用計画については、これまで事業化を図ってきた土地区画整理事業を一時休止して、県営屋内プールの誘致を含め、今後の社会経済情勢を見極めながら、実現可能な土地利用計画を再検討していきたいと考えています。

問 この操車場跡地に、国の



長岡操車場跡地

出先機関と民間施設を総合的に整備するシビックコア整備構想もあるやに聞いたが、事実か。

答 これは建設省の制度であり、八年度に当市の操車場地区を対象にして調査が実施され、幾つかの国の出先機関が移転して合同庁舎をつくる可能性があるという結論になっていますので、建設省とよく相談しながら、土地利用計画の再検討の中で検討したいと考えています。

## 新第二上条 跨線橋の

### 早期完成を

問 第二上条跨線橋は、昨年十一月に床版コンクリートがはがれ落ちて以来、通行止めが続いている。現在、補強工事が進

められ、長岡まつり前には一方通行で通れるようだが、一方通行では不便であるし、老朽化でまたいつ壊れるかわからない。

そこで、新しい第二上条跨線橋を含む都市計画道路宮原町高畑線の早期完成が強く望まれているが、その見通しはどうか。

答 この道路は、JR信越本線によって分断された東西交通の円滑化はもとより、操車場地区や市役所、中心市街地へのアクセス向上を図るうえで、大変重要な道路であると認識しており、現在、三つの区間に分けて道路改良事業を進めています。

まず、県道長岡中之島見附線の宮原一丁目交差点から第二上条跨線橋の手前までの区間は、八年度から事業着手しており、十四年度に完成する見込みです。

第二上条跨線橋区間は、七年度から事業着手しており、今年度から新跨線橋の橋台工事に着手し、十六年度に完成する見込みです。

旭岡中学校前から東バイパスの高畑交差点までの区間は、八年度から事業着手しており、十六年度に完成する見込みです。

いずれにしても、事業が早期に完成できるよう、関係機関に対してさらに強く要望していきたいと思えます。

# 長岡ニュータウン 整備事業の中止を

問 現在、長岡ニュータウンの第一住区の居住者は約二千八百人であり、計画目標の半分にも満たないのに、第二住区の造成工事が進められている。

市の財政事情が厳しい中、無駄とわかつている事業をなぜやめられないのか。

答 長岡ニュータウン開発整備事業は、あくまでも当市とは別の地域振興整備公団が実施しているものであり、しかも、市議会の全会一致の決議を経て、事業開始を要請したという事実があるわけ

問 ネットピア長岡第一、第三、第四ゾーンについては、企業誘致による開発整備を考えているが、この厳しい経済情勢の中、果たして分譲が図れるのか。

答 企業誘致は、土地所有者である(株)スペースネットピアと関係企業で進めていくこととなります。

指摘のように、大変厳しい経済情勢の中、誘致活動は難航すると予想されますが、市としては、基本構想を早期に実現し、地域の均衡ある発展につなげていくためにも、側面的かつ間接的な支援を行っていきたく考えています。



長岡ニュータウン

# 地域コミュニティの円滑な推進を

問 現在進められている地域コミュニティの推進は、生涯学習に主軸が置かれ、その推進体制も教育委員会だけにとどまっているように感じる。しかし、市のすべての組織がかかわらない限り、本来のコミュニティの推進はあり得ないと思うがどうか。

答 生涯学習活動とコミュニティ活動は、非常に密接な関係を持っており、実態としては一致する部分が極めて多く、地域の公民館などを拠点として行われる生涯学習活動が、より盛んなコミュニティ活動につながっていくものと考えています。

また、市内の推進体制としては、コミュニティは広範多岐にわたる施策ですので、この施策を総合的かつ効率的に推進するためには、市内に横断的な推進体制を確立することが重要であると考えています。

問 コミュニティセンターは地区公民館と並立設置されるようであるが、仕事内容などを考えると、その区分が明確でないので、実態に即して組織を一元

化してはどうか。

答 コミュニティセンターは、地区公民館、連絡所、児童館などを一体化させて、多目的利用を図るために、昨年度から開設を始めていますが、独立した専用施設があるわけではなく、地区公民館、児童館、地区福祉センターが入っている施設を複合的にまとめた呼称として呼んでいるものです。

このため、コミュニティセンター長が地区公民館長や児童館長などと併任になるなど、縦割り行政の弊害が見られますので、将来的にはこれらの施設の垣根を取り払って、一体的な運営ができるような体制にまとめたと考えています。

問 コミュニティセンター条例制定の考えは。

答 縦割り行政の弊害を排除し、効率的なコミュニティセンターの運営を進めるためには、条例化が必要ですので、現在、公民館、児童館などの管理運営について、国や県の考え方との整合性を図りながら、検討を進めているところです。

# 介護保険スタート後の状況は

問 今年四月から介護保険が始まったが、トラブルはなかったか。

答 介護保険のスタートに当たり、要介護認定や介護サービス計画の作成の遅れなどにより、介護サービスを利用できない人が出るのではないかと心配していましたが、特に大きな問題は生じず、順調にスタートできたと考えています。

問 利用料や保険料の負担が重いため、介護サービスの利用を抑制することがないよう、低所得者の利用料、保険料を軽減するべきだと思いがどうか。

答 四月のサービス提供状況を調査した結果、利用料を支払えないため利用できなかったという回答はありませんでした。これは、利用料については高額介護サービス費、食事の標準負担額の設定、ホームヘルプサービス利用料の軽減などを実施し

ていますし、保険料も低所得者が軽減されるように五段階で設定していますので、その効果があったものと考えています。今後、制度が進む中で対策が必要となる場合には、国の施策として実施するよう要望していきたいと考えています。

## お山の家の改築を

問 老人福祉センター「お山の家」は老朽化が進み、利用者と関係者は一日も早い改築を望んでいるが、改築計画はどのようなか。

答 「お山の家」は昭和四十年に建設した施設のため、かなり老朽化が進んでいます。所有者である社会福祉協議会では



老人福祉センター「お山の家」

建物全体の総点検をして、老朽度合いなどを調査することになっていますので、その結果を踏まえて整備の方向を協議したいと考えています。



## 高齢者世帯の多い公営住宅に生活指導員を

問 高齢者世帯が多い公営住宅に生活指導員を派遣して、生活指導、相談、安否確認、緊急時の対応などのサービスを提供する事業を実施し、居住者がより安心して生活できる支援体制づくりを進めてはどうか。

答 各地区福祉会、社会福祉協議会で高齢者世帯を定期的に訪問し、安否確認、見守りをする小地域ネットワークづくり事業がありますので、これを拡充していきたいと考えています。

また、特に高齢者世帯が多い公営住宅については、小地域ネットワークづくり事業と調整しながら、看護婦資格のある訪問指導員による安否確認や健康指導などをモデル的に実施していきたいと考えています。

# ごみの減量化に向けた 取り組み方針は

問 六月からペットボトルの回収を含む新収集体制がスタートしたが、さらなるごみの減量化に向けた今後の取り組み方針はどうか。

答 これまでの廃棄物問題は適正処理が中心課題であったわけですが、今はいかに加えて、廃棄物を資源の一つとらえ、これをいかにリサイクルしていくかが重要な課題となっております。

当市では、今年度から、びん・缶のほかにペットボトルも資源に加え、分別収集することになりました。また、生ごみの減量化のために、電動生ごみ処理機の設置補助制度も新しく導入したところです。

今後は、ペットボトル以外の廃プラスチック、テレビ、エアコンなどの廃家電品、菓子箱などの紙製容器や包装材の再資源化を進めていかなければならぬ

問 六月からペットボトルの回収を含む新収集体制がスタートしたが、さらなるごみの減量化に向けた今後の取り組み方針はどうか。

答 これまでの廃棄物問題は適正処理が中心課題であったわけですが、今はいかに加えて、廃棄物を資源の一つとらえ、これをいかにリサイクルしていくかが重要な課題となっております。

当市では、今年度から、びん・缶のほかにペットボトルも資源に加え、分別収集することになりました。また、生ごみの減量化のために、電動生ごみ処理機の設置補助制度も新しく導入したところです。

今後は、ペットボトル以外の廃プラスチック、テレビ、エアコンなどの廃家電品、菓子箱などの紙製容器や包装材の再資源化を進めていかなければならぬ



リサイクルプラザで

問 電動生ごみ処理機の設置補助制度への申し込み状況は。

答 五月末で申し込みを締め切ったところ、千台の予定に対し、およそ千五百五十台の申し込みがあり、公開抽選会を行って、千台分の当選者を決定しました。抽選に漏れた分は、次の議会に補正予算を計上して対処したいと思っています。

問 大量に排出されるマヨネーズやシャンプーの容器、ペットボトルのキャップなど、その他廃プラスチックの処理の現状は。

答 当市では現在、燃やさないごみとして一括収集しており、年間約三千トンが排出されているのではないかと推計しています。収集したその他廃プラスチックは、鳥越事業所で破砕後、容積を減らして埋め立て処分を行っているのが現状です。

問 ダイオキシン問題や埋め立て地の残存年数を考えると、従来のような焼却や埋め立てでない廃プラスチックの処理対策が早急に求められている。

そこで、民間の資金やノウハウを活用するPFI手法によって、廃プラスチックを樹脂コンクリート成形品として再商品化し、これを域内で再利用する、長岡版域内循環型リサイクルシステムを確立してはどうか。

答 最終処分場の延命化を図る意味でも、廃プラスチックの分別を徹底して、資源として再利用する方向に変えていくこと

問 今、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など、地球環境の破壊がかつてなかったスピードで進んでいる。これらの環境問題を解決する方法として、当市も環境マネジメントシステムの構築し、ISO14001の認証取得を目指すべきかどうか。

答 当市では、環境基本計画に基づき、昨年度に環境保全のための市役所行動計画を策定して、昼休みの一斉消灯、ごみの減量と分別の徹底、低公害車の導入など、環境を意識した活動に全庁的に取り組んでいるところです。

また、今年度から行財政改善推進計画に基づく事務事業評価

指摘のISO14001の認証取得については、山積する環境問題を解決していくときの一つの手段として、大変魅力的だと感じています。しかし、当市では、今申し上げたように既に幾つかの計画に取り組んでいる途中ですし、環境問題以外にも解決しなければならぬ問題が多くあり、ISO14001に取り組もうという職員の士気がまだ高まっていませんので、今の状況では認証取得はできないという判断をしています。

## その他廃プラスチックの リサイクルを

問 大量に排出されるマヨネーズやシャンプーの容器、ペットボトルのキャップなど、その他廃プラスチックの処理の現状は。

答 当市では現在、燃やさないごみとして一括収集しており、年間約三千トンが排出されているのではないかと推計しています。収集したその他廃プラスチックは、鳥越事業所で破砕後、容積を減らして埋め立て処分を行っているのが現状です。

は必要だと考えています。ただ、提案の樹脂コンクリート成形品については、現段階では国の規格認定品でないために限られた場所でのみ利用できない

いとか、再商品化した製品を域内で安定的かつ長期的に利用するルールの確保など、まだまだ多くの課題があります。また、国でも容器包装リサイクル法に基づき、廃プラスチックを再利用するシステムの整備が進められていますので、これらの動向を見極めながら、今後総合的に検討していきたいと思っています。

## ISO14001の 認証取得を

システムを導入することにしており、事務事業によつては、当然指摘の環境の視点からの評価も行われていくものと考えています。

# 都市景観条例 慎重に制定を

問 今年二月に、都市景観条例の制定に向けた素案が示されたが、良好な都市景観を形成していくには、市民と事業者、行政の協働が不可欠である。行政主導で条例制定を先行させるのではなく、市民への啓発活動を充実に、機運の高まりを見極めてから、慎重に条例制定へ移行してはどうか。

答 都市景観づくりは、指摘のように行政が一方的に強制してもうまくいくものではなく、市民や事業者の自発的な意思で継続して行うことが大事だと思います。条例制定に対する市民意識は必ずしも高くありませんが、条例を出発点にして市民意識を高めることも可能であると考えています。

当初は九月議会への条例提案を考えていましたが、それにこだわることなく、十分な時間を置いて、議会や市民の意見を聞きながら、よりよい条例にしていきたいと考えています。

問 条例では、特に良好な都市景観を形成する必要がある地区を都市景観形成地区として指

定することになっているが、指定された地区とそうでない地区との間に格差が生じるのではないかと。

答 都市景観形成地区の指定には、その地区の多数の人の支持が必要ですので、どういったまちにしていくかという結論に至るまでにはかなりのエネルギーを使い、コミュニケーションの高まりがなければできないものではないと思います。そこまでは自分たちのまちをよくしようとすする取り組みには、市は何らかの支援をして報いるべきではないかと思えます。そして、目に見えて景観がよくなる地区が先導的に一つでも二つでもできることによつて、他の地区にも波及し、市全体の景観の向上につながっていくと思えます。

また、地区指定を当面考えていない地区に対しても、景観を考えるきっかけづくりとして、アドバイザーの派遣など技術的支援を行い、すべての市民、事業者、行政が一体となった景観づくりを進めていきたいと思えます。

## オリンピック出場の 中村真衣選手に応援を



中村真衣選手激励会

問 当市出身の中村真衣選手が、シドニーオリンピック水泳競技の代表選手に選ばれ、五月十四日に激励会・壮行会が開催されたが、そこに出席した市長の感想は。

答 激励会では、千人余りの大勢の市民が集まり、私も感動しました。中心商店街のアーケードに掲げた市内小・中学校の児童・生徒による

応援メッセージにも見られるように、子供たちに頑張る心や夢と希望を与えてくれた中村選手に対し、私も精いっぱいのお声援を送りたいと考えています。

問 これからオリンピック当日まで、市を挙げて応援し続けることが、中村選手の勇気や力となると思ふ。市としての応援に取り組む姿勢はどうか。

問 今、教育界では、いじめ、不登校、小学校低学年からの学級崩壊など、さまざまな問題に直面しており、三十人学級を求めめる声が高まっているが、少人数学級編制に対する基本的な考え方はどうか。

答 必ずしも学級定員を減らすことだけが道ではないと思っており、当市では教員の加配を県に対して働きかけています。五月に出された文部省の教職員配置のあり方等に関する調査研究協力者会議の報告書によれば、現行どおりの四十人以下が妥当であるとし、チームティーチング加配が大きな効果を持っていると指摘しています。

## 少人数の 学級編成を

答 応援の方法はいろいろあると思いますが、市民の自由な知恵と力で自然に盛り上がるものが本来の姿であると思えますので、市民こそつって温かく感謝と喜びを分かち合えるような応援に向けて、市が側面から支援することが大切だと考えています。具体的には、関係団体の意向を聞きながら支援していきたいと思えます。

当市としては、四十人学級で換算した基本的な教職員の配当のほかに、市町村に対してさらに一〇%の加配教員を配当し、その活用は市町村教育委員会の裁量とするなど、実態に応じた学級編制が可能な教職員の配当が望ましいと考えていますので、引き続きチームティーチング加配を中心に、教員加配の一層の拡大を県教育委員会に強く要望していきたいと思えます。







# 大規模小売店舗立地法 施行に伴う対応は

問 これまで店舗面積や営業時間などで大型店の出店を規制してきた大規模小売店舗法(大店法)が廃止され、六月一日から大規模小売店舗立地法(大店立地法)が施行された。

大店立地法では、店舗面積千平方メートルを超える店舗に対して、駐車場や騒音、廃棄物対策の基準を示している。しかし、こうした国の基準に合っていないも、周辺地域の環境に影響を及ぼすことも考えられるが、当市の対応はどうか。

答 大店立地法の基本的な考え方は、大型店の立地に当たっ



大型店が建ち並ぶ古正寺地区

て、周辺地域の生活環境を保持

するために必要な調整を図ることを目的としています。このため、当市では、この法律の趣旨を踏まえ、交通、騒音、廃棄物など生活環境に関するさまざまな問題に対処するため、庁内に大規模小売店舗立地連絡会議を設置し、大型店の立地に伴う周辺環境の保持に積極的に対応していきたいと考えています。

問 大店立地法では、店舗面積千平方メートル以下の出店について、規制が廃止され、原則自由となった。しかし、多くの自治体が独自の規制を実施することになっているが、当市の対応はどうか。

答 大店立地法の対象外の店舗でも、周辺環境への配慮が必要な場合も考えられますので、大店法で届け出の対象になっていた店舗面積五百平方メートルを超え千平方メートル以下の店舗についても、出店者に対して事前に計画の届け出をお願いするとともに、地元説明会の開催についても協力を要請したいと考えています。

# 木造住宅・建築物の 普及促進を

問 木造の良さを見直し、木造住宅・建築物の普及促進を図るべきだと思いが、どのように考えているか。

答 木造の良さは十分認識しているつもりであり、今後、木造にふさわしい地域での建築、担い手の育成、市民の意識向上などに前向きに取り組む

たいと考えています。

ただ、これまでの取り組みが十分でなかったため、まずは体系的に取り組むための体制づくりをしてみたいと思っており、業界の代表なども入れて研究会を設置して、さまざまな面から木造住宅・建築物の振興策の方向を検討していきたいと考えています。

問 学校などの公共建築物の木質化、木造化にどのように取り組んでいるか。

答 校舎の増改築などの際に、腰壁や床、天井、階段などに木

材を使用し、木質化に努めていきます。今後も木質化を進めるとともに、木造化も検討していきたいと考えています。また、保育所や公民館などでも、木質化を進めています。

## 公営住宅の整備は

問 公営住宅への入居待ちが出ている中で、今後の公営住宅の整備方針はどうか。

答 公営住宅への入居待ちが常時百人を超えていますので、積極的に公営住宅の整備を進めていきたいと考えています。

具体的には、上除団地の建設を継続し、稲葉団地の建設計画の検討にも着手したいと思いを。また、民間が建設する住宅を市が借り上げて公営住宅として提供することも検討していきたいと思いを。

上除市営住宅



## 市議会活性化 検討委員会を 設置

長岡市議会では、市議会の一層の活性化を図るため、議長の問題関与として、「市議会活性化検討委員会」を6月27日に設置しました。

この委員会は、10人の議員で構成され、「議員の審議会等への参画見直し」、「会議の市民向けテレビ放映」などの課題について検討し、今年11月をめどに議長へ答申する予定です。

## 市議会議員会 永年在職議員を 表彰

全国及び北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、次の議員が表彰されました。

- 議員在職25年
  - 横山 益郎
  - 小林 成治
- 議員在職20年
  - 斎藤 博



常任委員会  
議会運営委員会

委員が変わりました

6月定例会において、常任委員会及び議会運営委員会の委員が改選されましたので、紹介します。  
委員の任期は1年と決められており、通常この定例会で改選を行っています。

委員長 副委員長

常任委員会

Table with 4 columns: 総務委員会, 文教社会委員会, 産業環境委員会, 建設委員会. Lists members for each committee.

議会運営委員会

Table listing members of the Council Administration Committee.

請願



採択されたもの  
・新潟県競馬場外販売所の設置  
反対に関する請願

前川地区協議会長

平澤 関一ほか

・行き届いた教育のための三十人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の現行維持等に関する請願

新潟県教職員組合長  
岡支部執行委員長

川崎 英郎

継続審査となったもの

・戦前戦時期の歴史事実確定のための国立国会図書館法の一部改正に関する請願(継続分)  
戦争被害調査会法を実現する長岡市民会議代表

児嶋 俊郎

陳情



報告されたもの  
・雇用・失業情勢の深刻化に対応するための労働行政の充実強化に関する陳情

全労働省労働組合新  
潟支部全労働基準長  
岡分会分会長

伊藤 敦ほか

市議会のホームページを開設

長岡市のホームページの中に市議会のページを開設しました。市議会の構成や日程、議員の紹介、議会の傍聴、議会だよりなどを掲載しています。  
ぜひ、一度アクセスしてみてください。  
アドレス  
<http://www.city.nagaoka.niigata.jp>



議会  
日誌



Table with 2 columns: Date (e.g., 6.12, 7.10) and Meeting Name (e.g., 議会運営委員会, 建設委員会).